

霧島神宮神楽殿竣工式典

施工者らに感謝状

霧島神宮神楽殿改築工事竣工奉告祭及び竣工式典が2日、始末郡霧島町の現地で開かれ、関係者や一般参詣者ら大勢が見守る中、竣工を祝った。



宮司らが神妙な面持ちで執り行った竣工奉告祭＝霧島町の現地で

改築事業委員長、大西洋逸同奉賛会長らが霧島神宮は1460年の歴史を有していることを報告し「関係者の尽力で無事完成した」と挨拶。施工を担当した戸田建設(株)に感謝状を手渡された後、小里

貞利衆議の祝辞や鏡開きが行われた。また、清興では霧島九面太鼓や桜小町の演奏、蒲生郷太鼓坊主の奉納もあった。



真剣な表情で受講する参加者＝鹿児島市の電設会館で

理論・電気機器電気設備等(発電設備・変電設備・送配電設備)講師・宮脇優氏※第2講 5月7日・8日・14日・21日・22日・28日、電気設備等(構内電気設備・関連設備・関連分野)施工管理(施工計画・工程管理・安全管理)法規(建築・消防・労働)、講師・河野竹重氏(株)大鹿電業常務後藤敏文氏(親栄電設(株)常務)中島啓介氏(株)中島電器技術部信号機担当



黙々と作業する参加者＝加治木町の日木山周辺で

高崎氏ら3人が個展

未来のパワー等表現

資料センター黎明館で感性の核融合と題した「3×個展」を開き、独特の個性を醸し出す3人の作品に真剣に見入り、未来のパワーとエネルギーを感じとっていた。

合格目指し25人参加

県電設協会

1級電気工事技士検定学科講習会 内容は、講師の宮脇優氏(株)栄電社副会長が電気理論についてテキストをもとに解説したほか、過去に出題された問題を参考に講義を行い、参加者は合格を目指し真剣な表情で受講していた。

地域住民と清掃励む

第一建設(株)木山裕継社長、加治木町は3日、同町日木山の旧ドライブイン小山屋周辺で、地域住民とともに清掃作業のボランティアサポートを実施し、関係者に感謝された。

「常にもう1人の自分に挑戦」



税理士になったのは大手自動車会社での就職失敗だった。毎日4時間、7年間続けた勉強の末、30歳で合格した。「製造関係に興味があり、大学も工学部。あの時希望通り就職した

甲南総合会計 税理士 徳留 利幸

自分と今の自分、どちらが成功したのか、今が間違っていたのか、証明するためには世界で競争している」と大方の人が考えないようなことを実践する。今の事務所は、全国的にも珍しい税理士3人で設立した税理士法人。3年前、家業も税

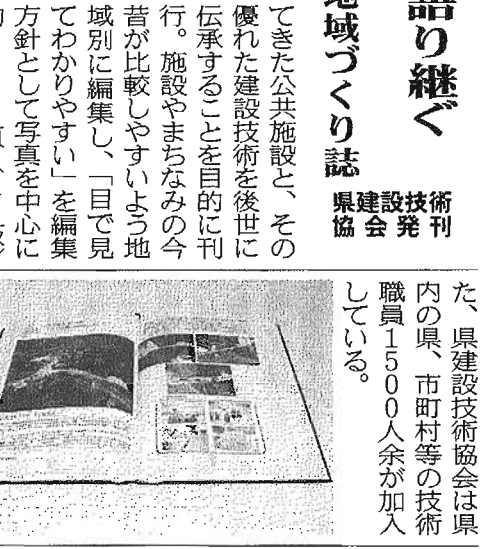
横がお拜見 税理士になったのは大手自動車会社での就職失敗だった。毎日4時間、7年間続けた勉強の末、30歳で合格した。「製造関係に興味があり、大学も工学部。あの時希望通り就職した

就職失敗から税理士に

鹿児島市上之園町。43歳。 40代に入り、これまで乗れなかった落ちた会社の車に乗れるようになったという。「周りからはいろいろ言われますが、乗るからには一番良い車に乗っています。やっぱりいい車。だけどこれを造ってたかも」とまだ呪縛は解けないようだ。

先輩の財産を語り継ぐ

全日本建設技術協会の地方支部である県建設技術協会(郡山博昭会長)は、かごしま全建クラブ(上拾石紀行会長)と共同で記念誌「かごしまの地域づくり誌」を編集して写真を中心に約1200頁(A4版)を



た、県建設技術協会は県内の県、市町村等の技術職員1500人余が加入している。

これまで本県では、戦後の復興期や高度成長期、現在の成熟期まで土木施設や建築物など数多くの公共施設の整備が行われ、今日の豊かで安全安心な県土が形成されてきた。これらの公共施設は人々の生活の時代から機械施工となってきた。多くの先達の苦労によって築かれた。「ローマは一日にして成らず」という通り、先達から学び、後進に伝

子町議が「周辺では日頃から清掃の要望があり、第一建設からごみ収集車やダンプ等を提供していただき、本日取り組むことになった。お互いに協力しあって精一杯がんばりましょう」と励まし、続いて梶原孝次第一建設(株)工務部長が「国交省加治木維持出張所管内では10号線は電ケ水手前から末吉町界まで、225号線は数根から福山町境まで、第一建設が管理している。清掃のお手伝いなどできることがあれば、



独特の感覚が伝わる作品を見入る来場者ら＝鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で

陶芸家の福田氏のコーナーには、宇宙を表現したような作品や土と火との軌跡、そこに内蔵する記憶を現した独特の感覚が伝わる作品に、来場者は見入る姿があちこちで見受けられた。